

(令和4年12月分)

種 類	市況の概況
(水産物部の動向) 水 産 物 全 般	<p>１２月は、養殖魚、輸入水産物の値上がりにより、総入荷量は前年同月比で１１％下回り、総取扱金額は前年同月比で１２％上回った。</p> <p>１月はふぐが旬の季節である。主に関西では、あたる（食中毒になる）と死ぬということから、ふぐのことは「テッポウ」、刺身は「テッサ」、ちり鍋は「テッチリ」と呼ばれている。</p> <p>ふぐは刺身や鍋以外にも、から揚げや焼きもの、皮を使用した煮凝り等、多くのメニューがあるので、旬を味わってほしい。</p>
鮮 魚	<p>鮮魚の入荷量は前年同月比で１２％下回り、単価は２２％上回った。</p> <p>品目別には、まだい（天然）、たらの入荷量は前年同月を下回り、単価は上回った。すけそうこ、かつおの入荷量は前年同月を上回り、単価は下回った。</p>
冷 凍 魚	<p>冷凍魚の入荷量は前年同月比で５％下回り、単価は５８％上回った。</p> <p>品目別には、冷さけ、冷あかうおの入荷量は前年同月を下回り、単価は上回った。冷ずわいがに、冷さわらの入荷量は前年同月を上回り、為替相場の影響により、単価も上回った。</p>
加 工 水 産 物	<p>加工水産物の入荷量は前年同月比で１０％下回り、単価は１７％上回った。</p> <p>品目別には、ちりめん、ゆでせこがにの入荷量は前年同月を下回り、単価は上回った。いくら、塩ますの入荷量は前年同月を上回り、単価は下回った。</p>

※ 鮮魚には、貝類、淡水魚を含む。

主要品目	市況の概要
(鮮 魚) ま あ じ	富山、長崎で水揚げされたものが主体となる入荷で、入荷量は前年同月比で１５％上回り、単価は大型物の水揚げ減少による値上がりから、２７％上回った。
ま い わ し	千葉で水揚げされたものが主体となる入荷で、入荷量は前年同月比で５２％上回ったが、単価は大型物の水揚げ減少による値上がりから、３８％上回った。
さ ば	韓国、長崎、富山で水揚げされたものが主体となる入荷で、入荷量は前年同月比で５８％下回り、単価は８６％上回った。
す る め い か	宮城で水揚げされたものが主体となる入荷で、入荷量は前年同月比で１２％下回り、単価は１０％上回った。
太 物	総入荷量は前年同月比で２２％下回り、単価は２５％上回った。
ぶ り	鹿児島、長崎で水揚げされたものが主体となる入荷で、入荷量は前年同月比で９％下回り、単価は２９％上回った。
は ま ぐ り	中国、千葉で水揚げされたものが主体となる入荷で、入荷量は前年同月比で１０％下回り、単価は２２％上回った。

※ 太物：まぐろ、きはだ、めばち

主要品目	市況の概要
(冷凍魚)	
冷 さ ば	入荷量は前年同月比で５３％上回ったが、単価は輸入物の値上がりにより、１３％上回った。
冷 す る め い か	入荷量は前年同月比で４９％上回ったが、単価は生鮮するめいかの入荷減少による値上がりから、１７％上回った。
(加工水産物)	
塩 さ け	入荷量は前年同月比で２３％下回り、単価は２３％上回った。
す け そ う こ	入荷量は前年同月比で１４％下回り、単価は２６％上回った。